

高校生環境シンポジウム in 滝川高校 アンケート集計結果

※回答枚数:514 枚

1 講演会を聞いて、私たちが出すゴミが地球環境に深刻な影響を与えていることが理解できましたか？

よく理解できた	399
大体理解できた	114
あまり理解できなかった	1
理解できなかった	0

2 講演会を聞いて、私たちもゴミを減らす取り組みを行うべきだと思いましたか？

強く思った	378
思った	133
あまり思わなかった	3
思わなかった	0

3 ゴミ問題等、私たちの普段の生活が地球温暖化の原因になっていることが理解できましたか？

よく理解できた	386
大体理解できた	122
あまり理解できなかった	6
理解できなかった	0

4 今日の講演会の中で、一番驚いたことや勉強になったことは何ですか？

- ・マイクロプラスチックの影響が思っていたより大きいことがわかった
- ・多くの生物が、人間の出したごみの影響で死んでいること
- ・高校生の発表は、しっかり研究されていて素晴らしかった
- ・科学部の調査したマイクロプラスチックについて、今後も調査を続け、発信してほしい
- ・高校生の意識の高さに将来への希望が持てた
- ・ペットボトルの多くがリサイクルと称して燃やされていること
- ・海に流出したプラスチックを魚が食べ、その魚を人間が食べることによる健康被害
- ・自分たちの出したごみは、結局最終的に自分たちに戻ってくること
- ・江戸時代の節約の方法がすごい
- ・例えば地球温暖化が嘘だったとしても、事実だった時のことを考えて対策していくことに意味があるという考え方が新鮮で興味深かった
- ・ペットボトルの多くが燃やされているだけだったこと
- ・落語で温暖化をテーマにしているのがすごいと思った
- ・何十年後には温暖化がとて深刻化している可能性があること
- ・温暖化を防ぐために、今からできることをしなければいけないこと
- ・石狩川に流れるマイクロプラスチックが約10億個になること
- ・普段は何気なくしていることが積み重なって、大きな問題を起こしていること
- ・地球温暖化＝温度が上がるだけではなく、深刻な問題が次々と起こること

資料1「令和元年度環境市民大会の開催結果について」

5 ゴミを減らしたり、地球温暖化の進行を防ぐために、自分に何ができると思いますか？

- ・再利用できるもの、ゴミの排出が少ないものを選ぶ
- ・エコバックを持参する
- ・生活の中で、プラスチック商品を意識して使わないように心がける
- ・本当に自分に必要で、使い捨てずに使用できるものを選んで購入する
- ・この問題を広く伝える
- ・自家用車の使用を可能な限り控える（二酸化炭素の排出を控える）
- ・道具は修理して使う
- ・環境保全活動を広めて、地域の意識を上げる
- ・まだ使える物は捨てずに形を変えたりして使用して、捨てる時間を少しでも伸ばす
- ・正しい方法でゴミを処分する
- ・物を買う前に、本当に必要なのか？を考える
- ・3R がとても重要だと思った
- ・一つひとつの行動が正しいかどうかを判断して、責任を持つこと
- ・自分の利益だけを考えずに、周りにも目を向けること

6 今日の講演に点数をつけるなら、あなたは何点をつけますか？

平均点数：90.7 点（高校生の平均点 92.5 点と市民の平均点 89 点の平均）

※開西中学校の平均点 89.1 点と合わせた全体（2日間）の平均点：89.9 点